

# 2002年度 決算説明資料

2003年 5月

- 2002年度 連結決算の概要 P3
- 連結セグメント別受注高・売上高 P5
- 貸借対照表 P7
- 有利子負債・キャッシュフロー P8
- 研究開発費・減価償却費・設備投資 P9
- 2002年度 単独決算の概要 P10
- 連結事業セグメント別の状況 P11
- 2003年度 通期の業績見通し(連結) P17
- 2003年度見通し(受注) P18
- 2003年度見通し(損益) P19
- 2003年度見通し(連結セグメント別受注高・売上高) P20
- 2003年度 通期の業績見通し(単独) P21

# 2002年度 連結決算の概要

(億円)

	'02年度	'01年度	増減	増減率
受注高	24,809	24,249	559	2.3%
売上高	25,938	28,639	2,700	9.4%
営業損益	1,153	786	366	46.6%
経常損益	781	679	102	15.0%
特別損益	120	199	79	-
税引前損益	661	480	181	37.8%
当年度損益	343	264	78	29.8%

特別損益( 120)の内訳: 投資有価証券等評価損 192、客船火災関連損失 129  
 投資有価証券売却益 + 54、退職給付信託設定益 +147

## 営業損益 増減要因

+366億円

(’01年度:786 ’02年度:1,153)

売上総利益増加 +204億円

・売上減少の影響 351億円

・コスト低減、及び事業内容の改善 +531億円  
(内、一時金・支給対象期間変更による影響 +195億円)

・為替の影響 +24億円  
USD/円 @¥122(’01年度) @¥122(’02年度)  
1-円 @¥110(’01年度) @¥119(’02年度) 他

販売費・一般管理費減少 +161億円

(内、一時金・支給対象期間変更による影響 +70億円)

・売上規模(減少)に見合う効率的費用投入+148億円

・R&D・開発費減少 +31億円

・引合費用等、諸経費低減 他 +117億円

・貸倒損失減少 +13億円

**営業損益増減 +366億円**

## 税引前損益 増減要因

+181億円

(’01年度:480 ’02年度:661)

経常損益 +102億円

(’01年度:679 ’02年度:781)

・営業利益増加 +366億円 (左記の通り)

・営業外損益 264億円  
(’01年度:106 ’02年度:371)

・為替差損益 230億円  
ドル@¥133(’01.期末) @¥120(’02.期末) 他  
・持分法投資損益 5億円  
(三菱自動車(株)持分法適用範囲より除外 他)  
・その他(固定資産処分損 他) 29億円

特別損益 +79億円

(退職給付信託設定益 他)

(’01年度:199 ’02年度:120)

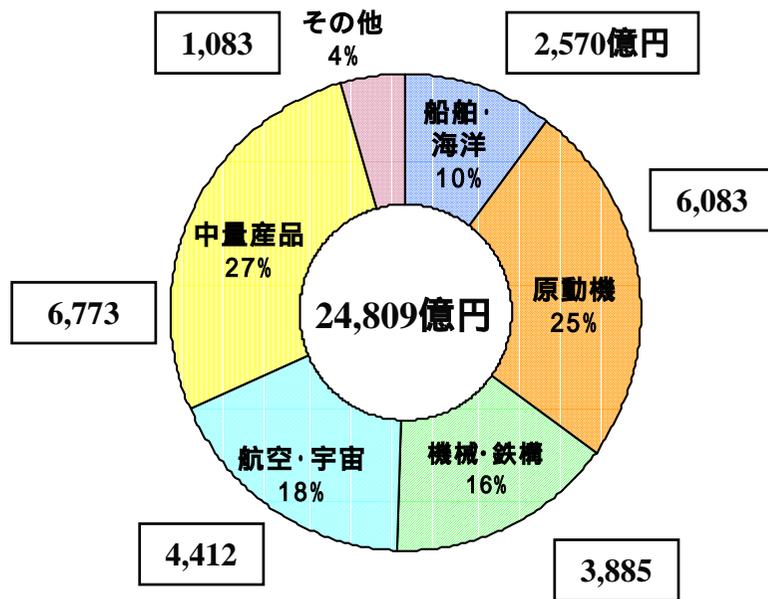
**税引前損益増減 +181億円**

当年度損益 +78億円

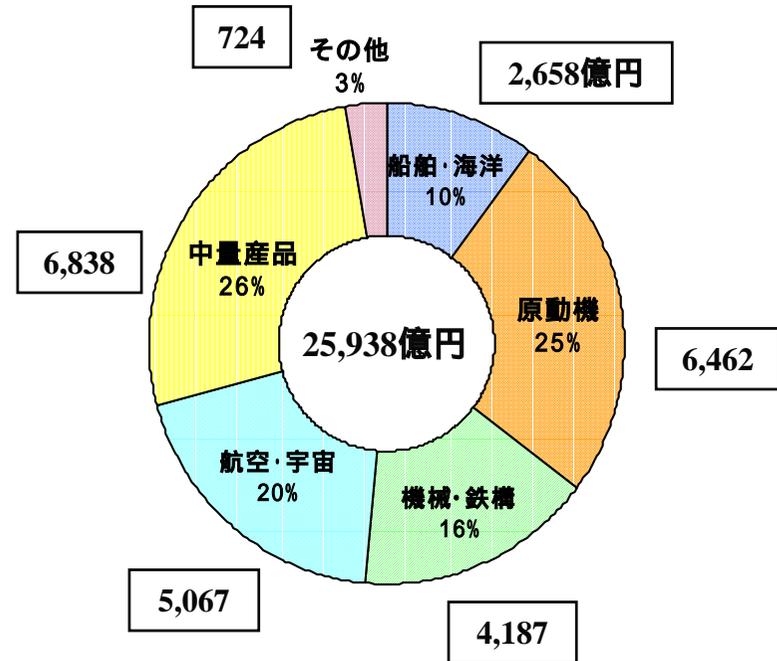
(’01年度:264 ’02年度:343)

# 連結セグメント別の状況(2002年度実績)

**受注高**

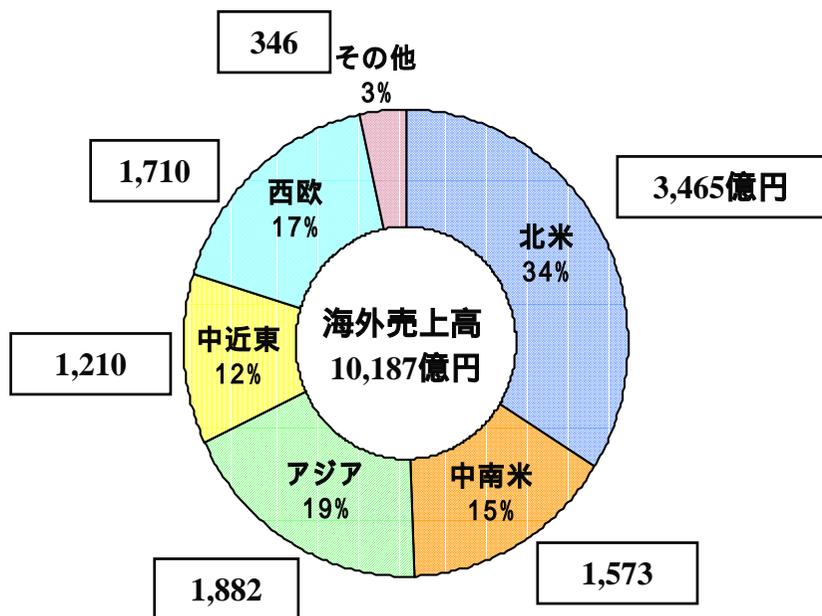


**売上高**

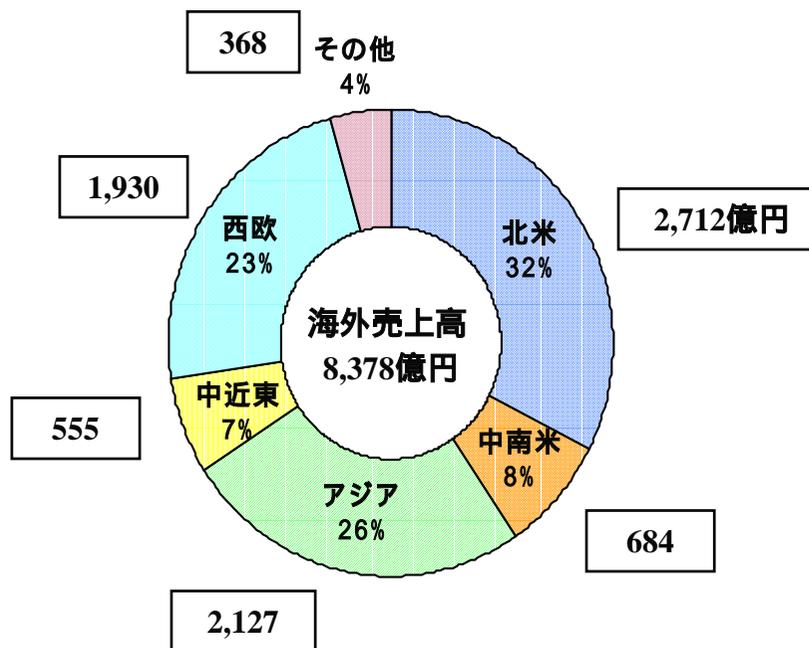


# 海外地域別連結売上高

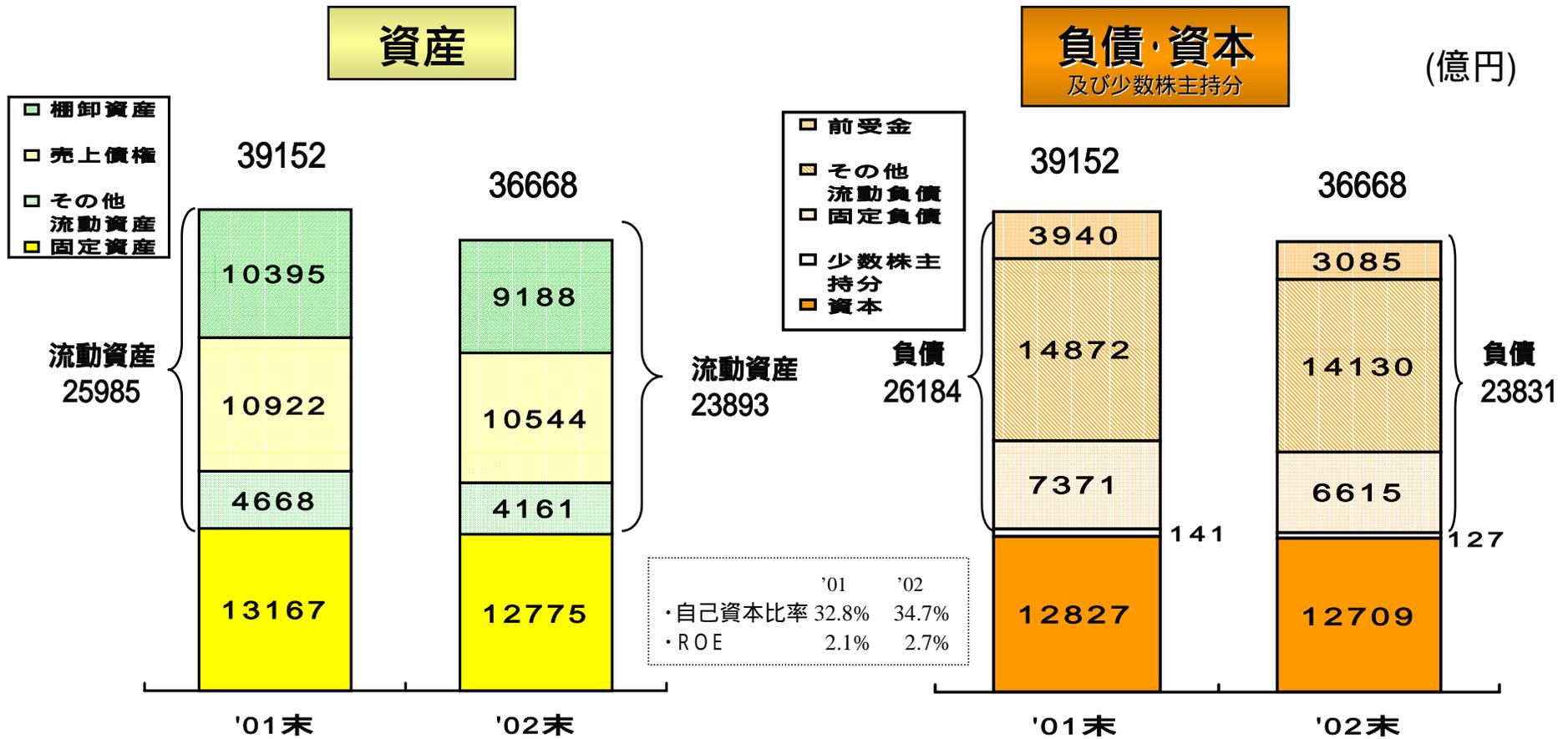
2001年度実績



2002年度実績



# 貸借対照表



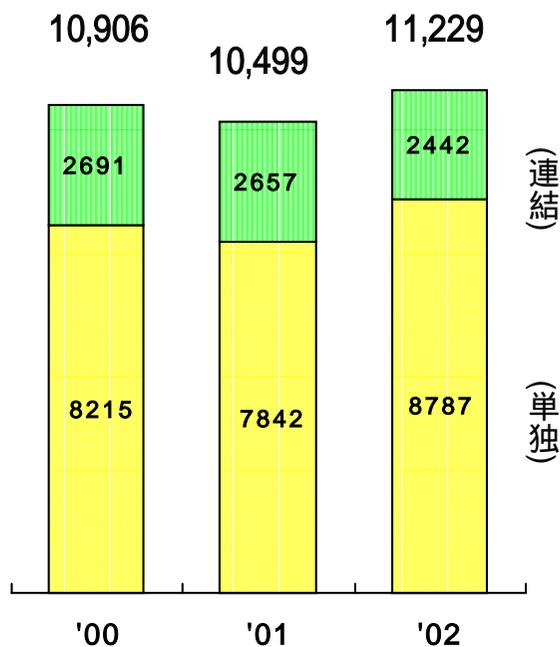
**資産増減( 2484)**  
 流動資産 2091(棚卸資産 1206、売上債権 378 他)  
 固定資産 392(投資有価証券 519 他)

**負債増減( 2352):**流動負債 1597  
 (買入債務 863、前受金 855 他)  
 固定負債 755

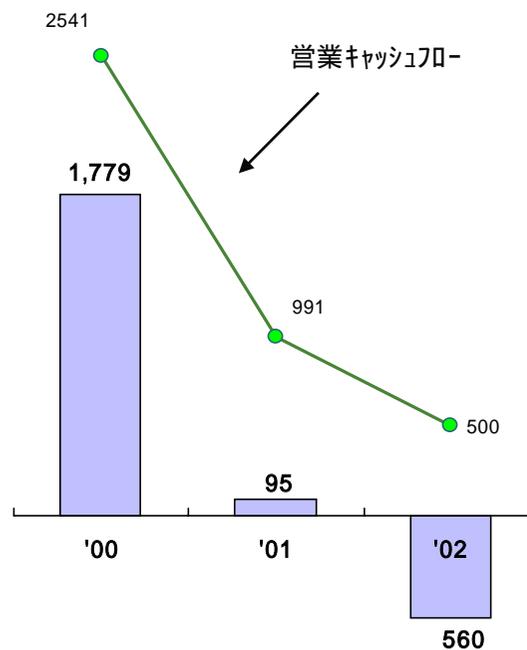
**資本増減( 117):**利益剰余金 144、評価差額金 32 他

# 有利子負債・キャッシュフロー

有利子負債 (億円)



フリーキャッシュフロー (億円)



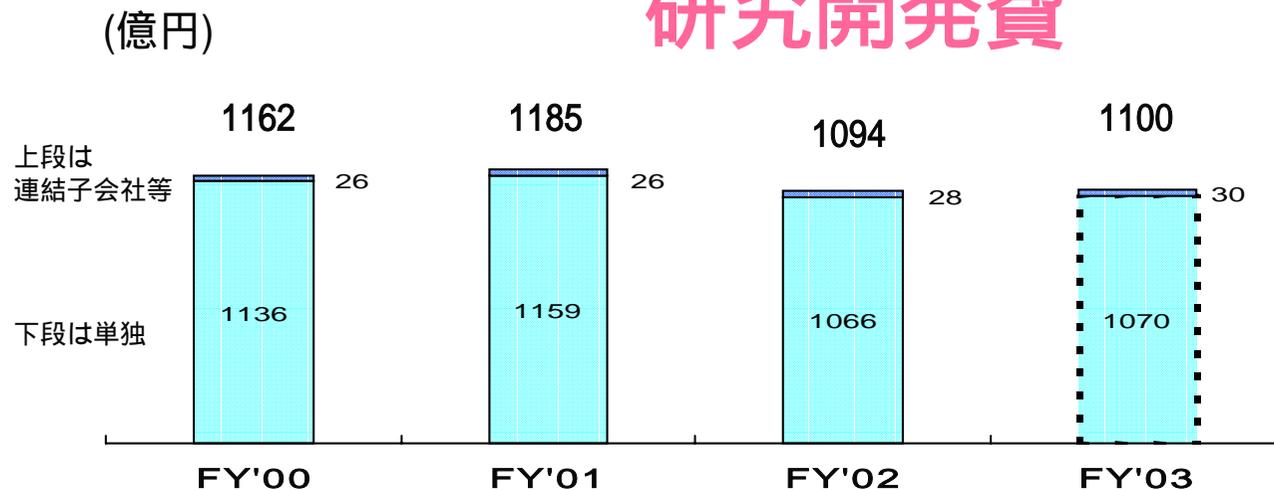
## '02年度の概要

- 営業キャッシュフローはP&O向客船の工事支出等が影響し、500億円に留まった。
- 一方、投資キャッシュフローは生産設備を主体とした支出の増加により、1,061億円となった。
- この結果、フリーキャッシュフローは560億円のマイクスとなり、有利子負債は前年度から729億円増加した。

	'02年度	'01年度	増減
営業CF	500	991	490
投資CF	1,061	895	166
フリーCF	560	95	656
財務CF	593	694	1,287

\* CF=キャッシュフロー

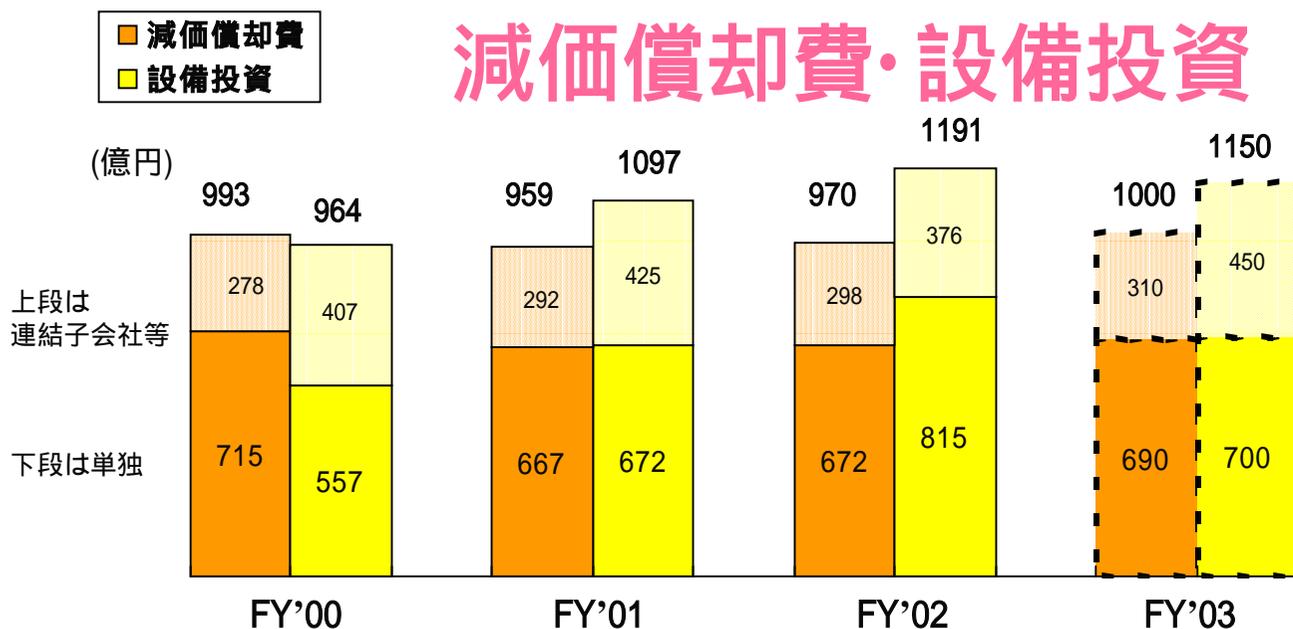
# 研究開発費



・主力分野を中心とする研究開発投資を継続

- ・ガスタービン
- ・燃料電池 他

# 減価償却費・設備投資



・生産設備の拡充を中心に減価償却費を上回る設備投資継続

- ・ガスタービン高温部品増産対応
- ・太陽電池製造設備
- ・交通システム(APM)車両生産(組立)体制整備
- ・欧州子会社、小型ターボ増産対応 他

# 2002年度 単独決算の概要

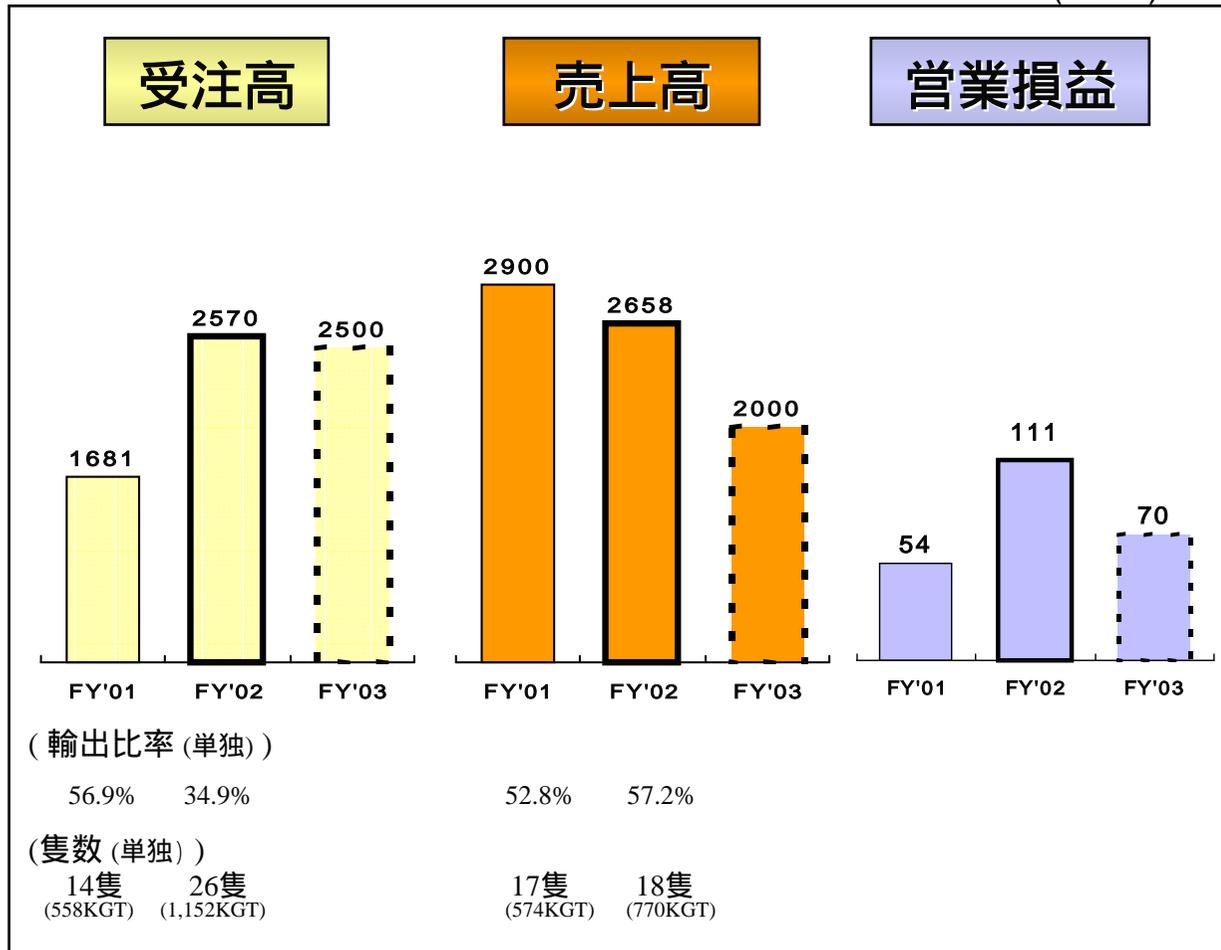
(億円)

	'02年度	'01年度	増減	増減率
受注高	20,507	19,704	803	4.1%
売上高	21,717	23,886	2,168	9.1%
営業損益	1,030	668	362	54.1%
経常損益	651	594	56	9.6%
特別損益	106	260	153	-
税引前損益	545	334	210	63.0%
当年度損益	301	224	77	34.6%

特別損益( 106)の内訳: 投資有価証券等評価損 179、客船火災関連損失 129  
 投資有価証券売却益 + 55、退職給付信託設定益 +147

# 船舶・海洋

(億円)



## [事業環境・受注]

- 世界的な景気低迷で新造船需要は下落、韓国、中国の設備増強により競争激化
- LPG船2隻、LNG船1隻、フェリー5隻、VLCC3隻他、合計26隻を受注 (手持48隻、内LNG船7隻)

## [売上/損益]

- 国内・艦艇(新造)の売上減少等で減収となったが、生産性向上等により増益

## [トピックス]

- 人員削減等固定費圧縮を継続 (事業人員) 5,610 (’00/4) 5,380 (’01/4) 5,160 (’02/4) 4,940人 (’03/4)

## < FY'03業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

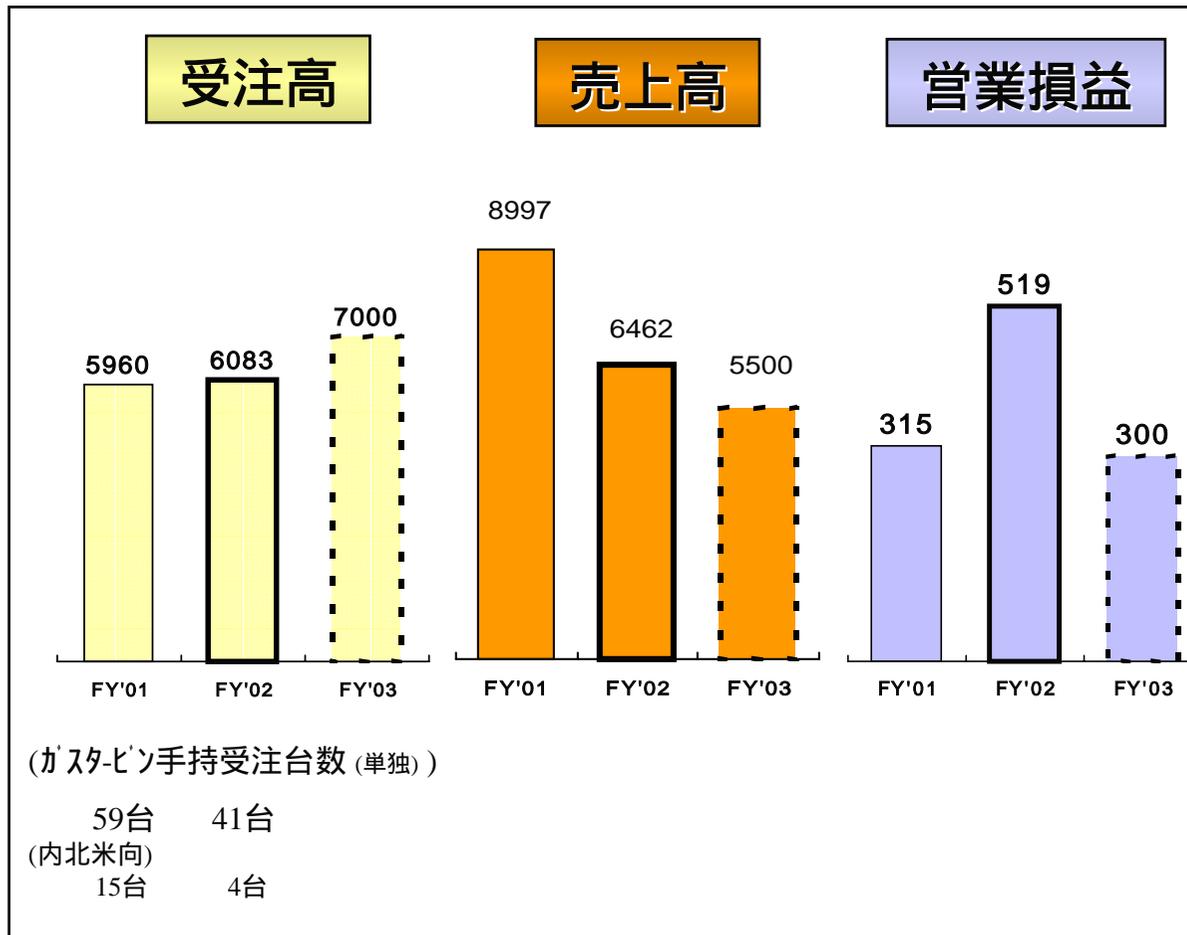
FY'03見通し: 2500 / 2000 / 70

FY'02実績 : 2570 / 2658 / 111

(中間見通し 2700 / 2850 / 90)

# 原動機

(億円)



## [事業環境・受注]

- 国内は電力関連の設備投資が引続き抑制基調で推移、依然厳しい事業環境
- 海外は米国電力マーケットが減速、アジア・欧州は比較的堅調
- 輸出は、サービスで拡大したが新規プラント工事で減少。  
原子力関係の受注が増加したことにより、部門全体では、ほぼ前年度並み

## [売上/損益]

- 大型プラントの引渡しが一段落した為、減収となったが、コスト改善、及び不採算案件の減少により増益

## [トピックス]

- ガスタービン: 東方電気集团公司と協調し、中国大型G/T商談を受注
- 原子力: 上部原子炉容器(米国・スウェーデン向)に続き、取替用蒸気発生器(米国向)受注

## < FY'03業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

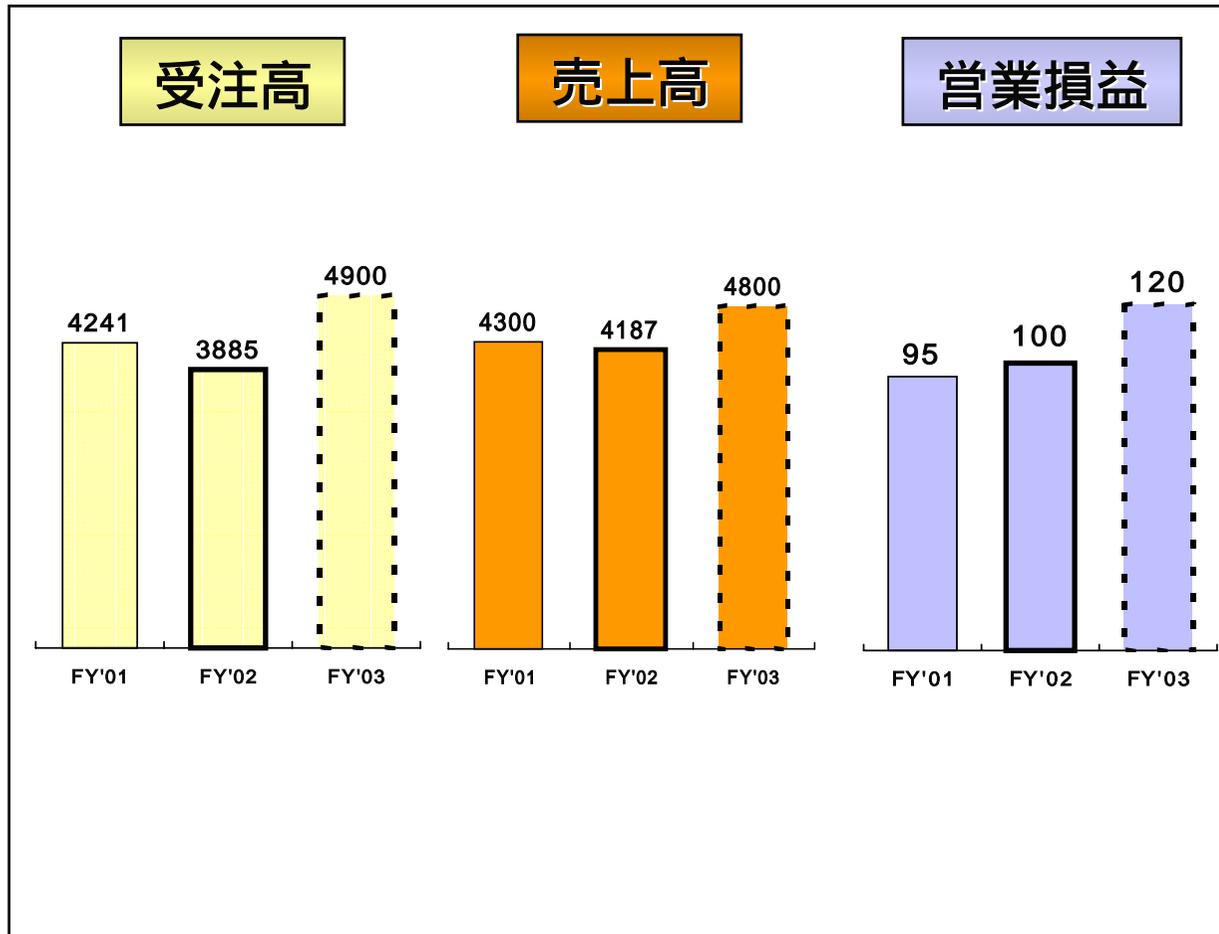
FY'03見通し : 7000 / 5500 / 300

FY'02実績 : 6083 / 6462 / 519

(中間見通し 6500 / 7200 / 410)

# 機械・鉄構

(億円)



## [事業環境・受注]

- 海外は交通システムの伸長、及び化学プラントの成約により増加
- 国内は環境装置(廃棄物処理装置)で大型案件の成約があったが、公共投資・民間設備投資が依然低調であり、部門全体では前年度比減少

## [売上/損益]

- 環境装置、橋梁など国内工事は増加したが、化学プラント他で輸出工事が減少し、部門全体では減収、損益はほぼ前年度並み

## [トピックス]

- 台湾新幹線:第4・5工区に続き、第2・3工区の軌道工事を受注
- 交通システム :米ワシントン・ダレス国際空港向にAPMを受注
- プラント・交通システム事業センターを設置(2003.4.1)

## < FY'03業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'03見通し: 4900 / 4800 / 120

FY'02実績 : 3885 / 4187 / 100  
(中間見通し 5300 / 4300 / 100)

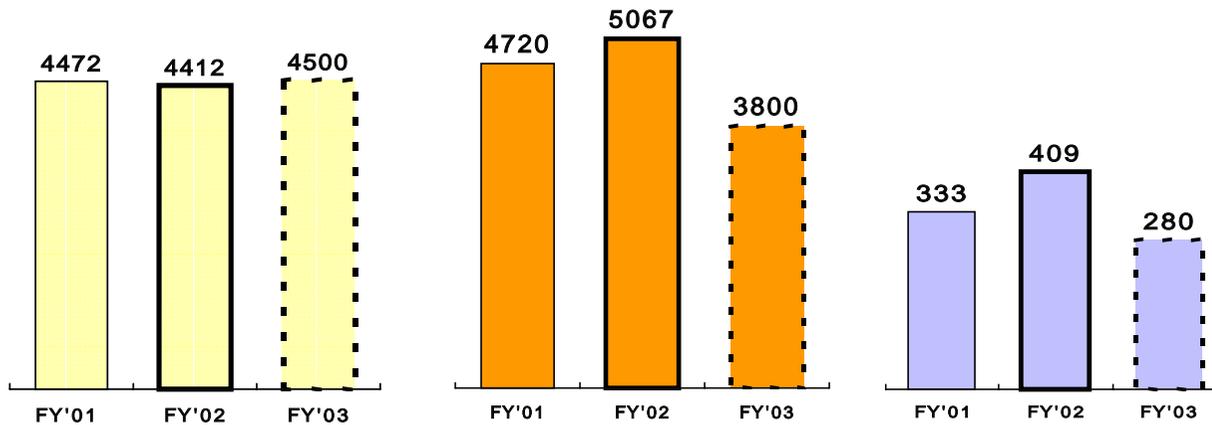
# 航空・宇宙

(億円)

受注高

売上高

営業損益



<引渡機数>

B777: 61機 36機

## [事業環境・受注]

- 防衛関係は、正面装備予算でほぼ例年並みの水準を確保
- 民間機関係は需要回復遅れにより減少したが、部門全体では、ほぼ前年度並み

## [売上/損益]

- B777引渡機数減少等により民間機関係で減少したが、防衛関係でF-2工事進行基準の売上等が増加、部門全体では増収・増益

## [トピックス]

- 哨戒ヘリコプター SH-60K量産開始(2003.3)
- H- A4号機(2002.12)、5号機(2003.3)の打上げに成功
- ホ-イング747中央翼製造移管合意(2002.12)
- 国際共同開発機S-92大型双発ヘリコプター量産初号機を出荷(2003.2)

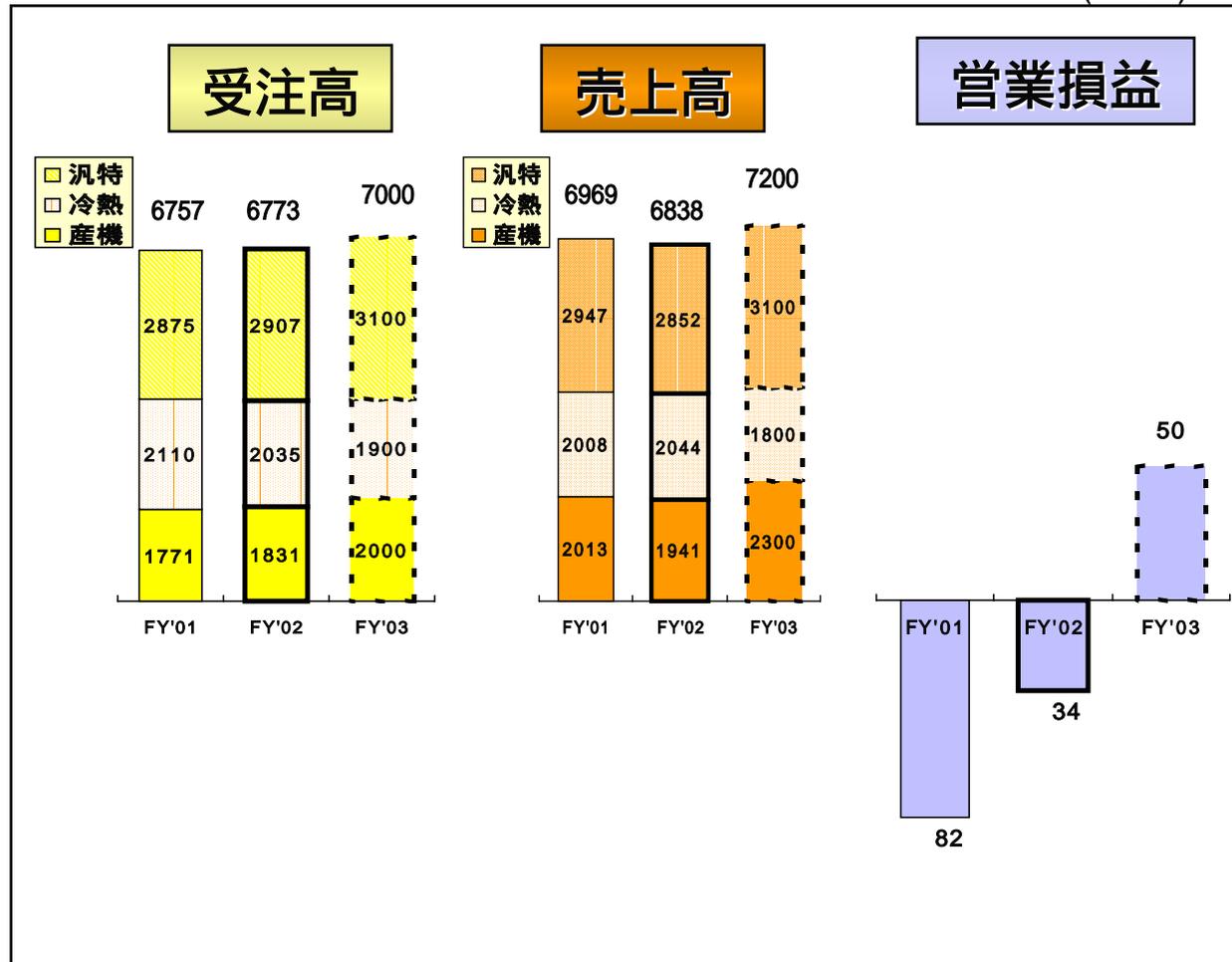
## <FY'03業績見通し:受注/売上/損益>

FY'03見通し: 4500 / 3800 / 280

FY'02実績 : 4412 / 5067 / 409  
(中間見通し 4500 / 4450 / 390)

# 中量産品

(億円)



## [事業環境・受注]

- 海外は北米需要が減退、需要旺盛な中国を中心にアジア向が堅調
- 国内は景気低迷の影響で低調であったが、印刷機械など中国向輸出が増加、部門全体では、ほぼ前年度レベル

## [売上/損益]

- 産業機械を中心に輸出売上高は増加したが、国内販売の減少により部門全体では減収
- 損益は、海外子会社のコスト低減等により改善

## [トピックス]

- 工作機械：中国・韓国向中心に輸出伸長
- 冷熱：北米カーエアコン生産子会社、生産性向上とコスト低減で大幅に改善

## < FY'03業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

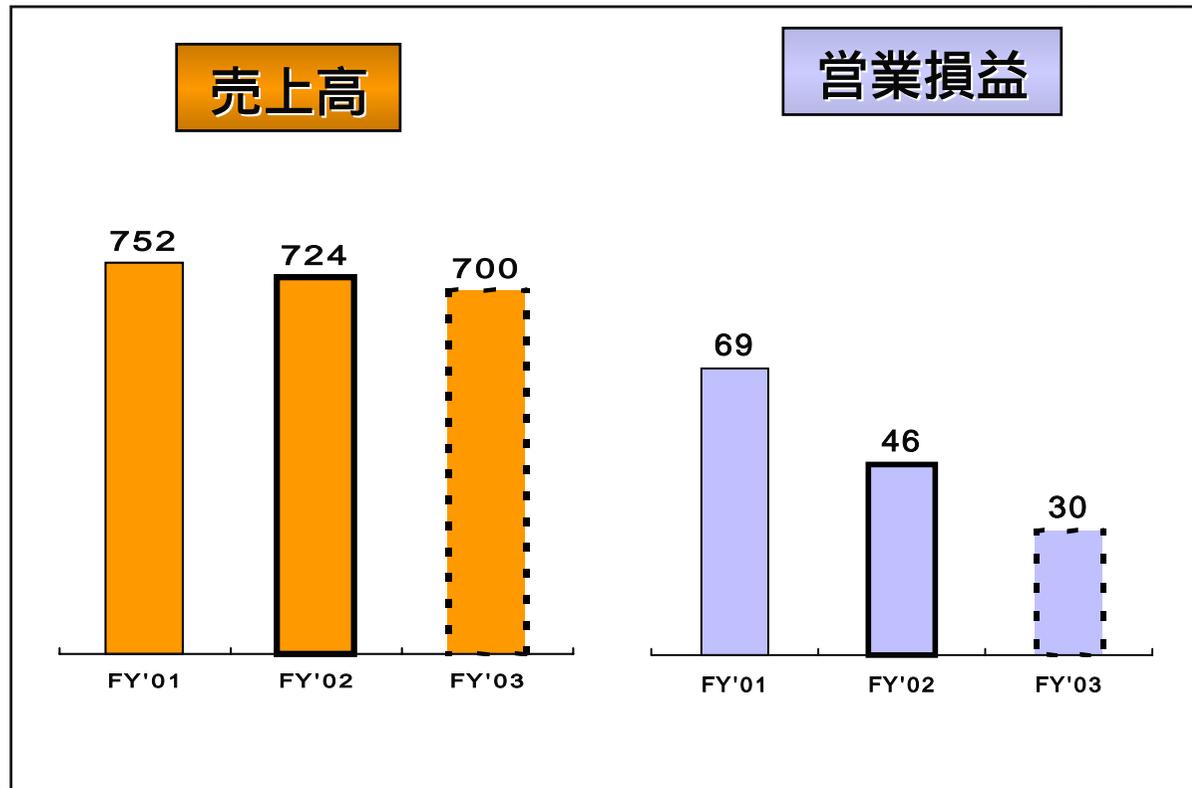
FY'03見通し : 7000 / 7200 / 50

FY'02実績 : 6773 / 6838 / 34

(中間見通し : 6900 / 6900 / 30)

# その他

(億円)



- ・建築・不動産
- ・情報・通信サービス
- 他

<FY'03業績見通し: 売上 / 損益>

FY'03見通し: 700 / 30

FY'02実績 : 724 / 46

(中間見通し 600 / 70)

# 2003年度 通期の業績見通し(連結)

(年度)

(単位:億円)

	'02	'03	
	実績	見通し	増減
受注高	24,809	27,000	2,191
売上高	25,938	24,000	1,938
営業損益	1,153	850	303
経常損益	781	600	181
税引前損益	661	600	61
当年度損益	343	350	7

為替レートは1ドル=@ ¥120,11-0=@ ¥125の前提 (未確定38億ドル, 3億1-0)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

# 2003年度見通し(受注)

## 市場環境と課題

### 単独

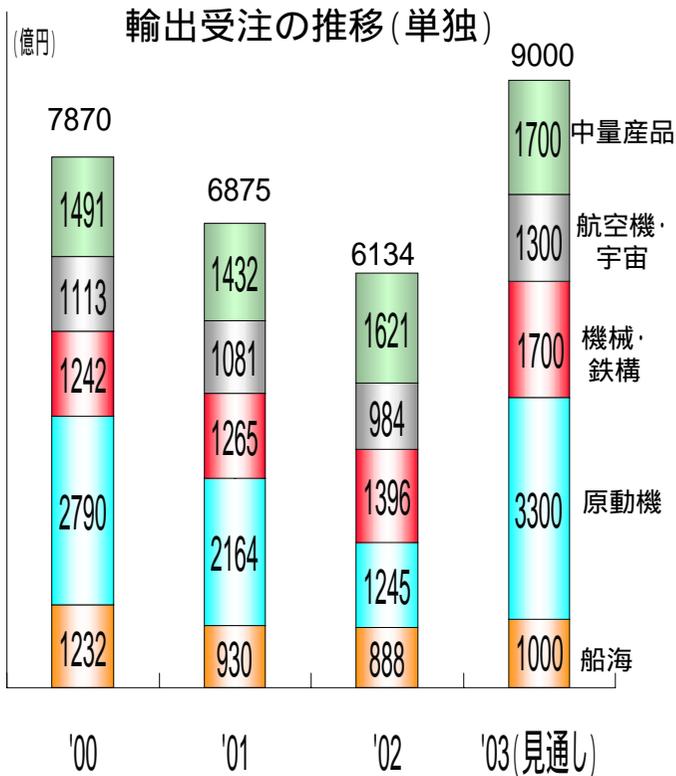
国内：官公需、電力設備投資の減少は継続

国内受注は1兆3000億円規模で横ばい

輸出拡大に注力し、目標9000億円

[受注高]

	'00	'01	'02	'03見通し
連結	26,403	24,249	24,809	27,000
単独	22,138	19,704	20,507	22,000
(うち輸出)	(7,870)	(6,875)	(6,134)	(9,000)



### 1. 原動機

・中国、台湾、東南アジアの発電プラント商談活発化

ガスタービン：中国商談で2強に生き残り

石炭・石油焚：顧客との緊密な関係を武器にフルターキー一括受注

・輸出サービス事業拡大

・既設火力大型リハビリ工事の拡販

・長期包括サービス契約の拡大

### 2. 機械・鉄構

#### (1) 交通

・東南アジア、米国向け新交通システムがターゲット

#### (2) 化学プラント、排脱装置、LNGタンク

・他社との提携や当社優位技術で拡販

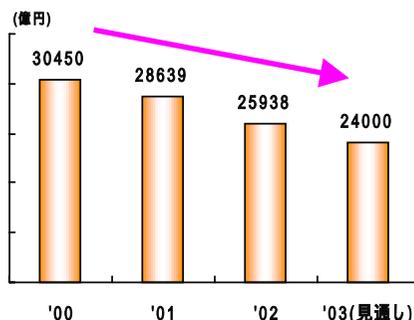
### 3. 航空・宇宙

・ボーイング、ホンバルディア向け既存機種は横ばい

・ボーイングからの大型構造パッケージ受注を計画

# 2003年度見通し(損益)

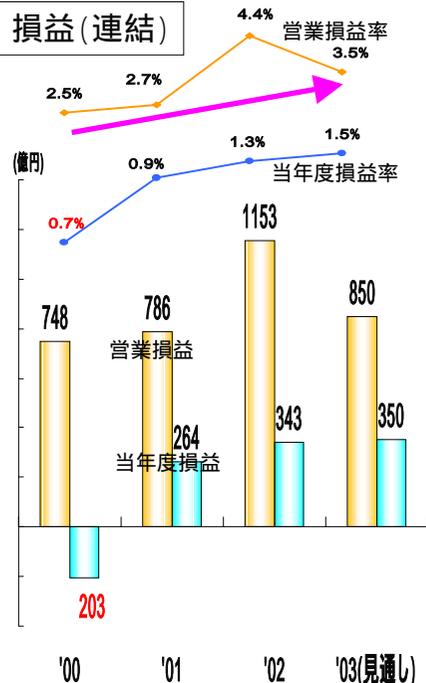
売上(連結)



売上

'03見通しは低水準(対前年比 1,938億円)  
 売上減少傾向に歯止めをかけ、'04以降 売上を  
 拡大すべく受注確保に注力(特に原動機)

損益(連結)



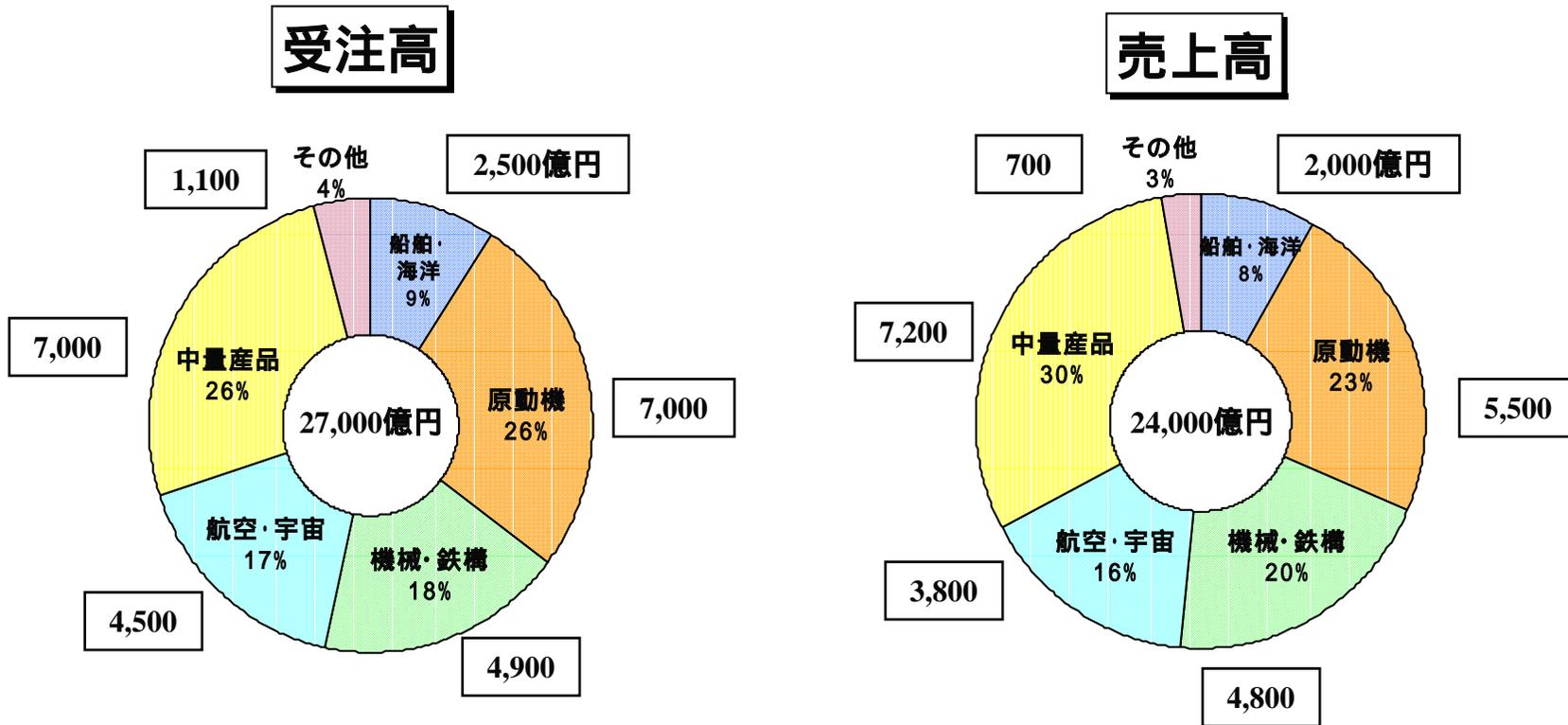
利益

当年度利益は前年度並を確保  
 利益率は改善傾向を維持  
 但し、売上が減少し、営業利益は減少  
 '04以降 売上を拡大し、利益の増出を図る

課題

- 主力事業の収益力拡大
- ・輸出競争力を強化し、受注・売上を確保
- ルームエアコンの再建
- ・タイMACO社へ生産集約済み
  - ・不採算機種は縮小
  - ・固定費削減(人員削減、在庫圧縮等)

# 連結セグメント別・2003年度見通し



# 2003年度 通期の業績見通し(単独)

(年度)	(単位:億円)		
	'02	'03	
	実績	見通し	増減
受注高	20,507	22,000	1,493
売上高	21,717	19,000	2,717
営業損益	1,030	670	360
経常損益	651	500	151
税引前損益	545	500	45
当年度損益	301	300	1
一株当たり年間配当金	6.0円	6.0円	-

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。